

すなお

令和5年4月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2023.4.16 通巻 No.753



会長

先月末に大教会で共に用事をしていた方が、私の横で突然倒れました。最初は躓いただけかと思っていたら、眼を見開いたまま身体は硬直していて、、、。（これはやばい！）と思っている瞬間、そばにいた奥さんが声がけをしておさづけの取り次ぎをしてくれました。私は救急車の手配とAEDを用意していました。大教会の役員さんが心臓マッサージをしてくれていましたが、意識が戻らないのでAEDからの音声指示に従って電気ショック。今まで講習会等で練習はしていても実際にスイッチを押すとなると何とも言えない心境でしたが、まだ戻らないので再度電気ショック。その後、ようやく救急隊員が到着して交代しました。意識回復しないまま搬送されましたが、おかげで次の日には意識も戻りラインもできるように回復してくれました。

【その時！】は突然やってきますから、何の準備もできません。しかし、今回の事をよくよく考えると倒れた場所、時間、そして周囲にいる人々。正に最高のタイミングであったということです。何か一つ欠けると命は繋がりません。絶妙です。これが神様のお働きです。

人によれば「なぜ、倒れたのに」と思うかもしれませんが、人の生き死には自分で決められません。本当は死ぬべきタイミングであっても繋いで頂けることもあれば、思わぬことで亡くなってしまうこともあります。神様にもう一度人助けの御用に使いたいと思って頂ける日々を、是非ともお通り下さい。神様の働きは必ずあります。

上下のない心で

田中 道則

3月に行われた野球のWBCは、今だに興奮冷めやらぬ盛り上がりを見せました。大谷君をはじめ超一流の選手達が世界一をかけて戦いました。特に準決勝のメキシコ戦は歴史に残る名勝負になりました。

選手もさることながら、自分が一番感心したのはジャパンの栗山監督です。とにかく腰が低く、我が子くらい歳が離れている選手に対し、同じ目線で談じ合い、寄り添い、向かい合っていました。これこそ上に立つ人間の姿だと感動しました。また栗山さんからこれだけのメンバーが集まったと思います。

自分も20歳以上離れた若い子と現場を回ることがあります。先んじて生きている事が偉い訳ではなく、後に続く人達に自分の姿を見てもらい少しでもプラスになってもらえるような人間に成長して行きたいと思います。



順調な時こそ

椿 信代

毎朝歩く通勤路に大きな桜の木があり、毎年同じ場所でこの桜の写真を撮ります。最初は綺麗だなと思って撮るくらいだったのがだんだんとその桜を毎年変わらず見られることが嬉しいなあという気持ちになってきました。春夏秋冬、一年という時間は本当にあっという間ですが、今年もまた一年無事に過ごさせていただけたなあと満開の桜を眺めてしみじみ感じます。

先日会長さんから「物事が順調に進んでいる時こそ喜んでつとめてください」と言われました。最近身の回りのあらゆることがトントン拍子で進んでいて、逆に少し心配になるほどでした。思ったことが思ったように行くのがどれだけ幸せなことか。そして、もし予想外のことが起きた時にもそれも含めて神様からのお与えだと心の底から思えるか。…会長さんの言葉を聞いてそんなことを感じました。

神様に結構な道を与えていただけるように、喜び心と低い心でまた一年歩ませてもらうと思います。

教会ニュース

全教一斉ひのきしんデー

4月29日（土・祝）の午前9時30分より市民の森において開催されます。今年から参加カードが愛媛教区独自の物になります。愛媛教区内での参加の場合は、教会でお配りしますので利用して下さい。もし、手元になくても会場で予備があります。まずは参加をお願いします。

【愛媛教区 行事参加カード】				TENRIKYO EHI ME KYOKU	
直属	所属	支部			
ふりがな氏名	性別	大 昭 平 会	年 月 日	立 場	学 年
	男・女	平 会		教区長 布教所長 ようばく 少年会員 その他	小・中 高 大 専門 年生
ふりがな氏名	性別	大 昭 平 会	年 月 日	立 場	学 年
	男・女	平 会		教区長 布教所長 ようばく 少年会員 その他	小・中 高 大 専門 年生
ふりがな氏名	性別	大 昭 平 会	年 月 日	立 場	学 年
	男・女	平 会		教区長 布教所長 ようばく 少年会員 その他	小・中 高 大 専門 年生
ふりがな氏名	性別	大 昭 平 会	年 月 日	立 場	学 年
	男・女	平 会		教区長 布教所長 ようばく 少年会員 その他	小・中 高 大 専門 年生

※記入された情報は、教区・支部活動のお知らせ等に活用します。



編集後記

4月になり、多くの人が進級や進学、就職や転居などの形で新しい生活を始めたと思います。新しい環境に慣れないこともあるかもしれませんが、一步一步着実に前進していくことが大切ですね。コロナの影響も少しずつ緩和の方向に向かっており、5月の連休明けからはマスクを外す人も増えてくると思います。以前の生活と同じようにはならないかもしれませんが、脱コロナの生活を前向きに楽しみたいと思う今日この頃です。

(編集者K)